

令和6年度 母子保健指導者養研修
乳幼児健康診査に関する研修②

3歳までの発達 ～健診の問診項目を踏まえて～

鳥取県福祉保健部／子ども家庭部
鳥取県倉吉保健所、鳥取療育園
国立成育医療研究センター
小倉 加恵子

本日の内容

1. 乳幼児健診で気づきたい疾病、状態

2. 問診からのアプローチ

(1) 3~4か月児健診

(2) 1歳6か月児健診

(3) 3歳児健診

(4) 育児支援

乳幼児健診の目的



- 個人に対して(個益)
- 疾病スクリーニング
 - 育児支援



- 地域に対して(公益)
- 地域全体の健康状態の向上

健康の社会決定因子

乳幼児健診の時期とスクリーニング対象疾病

「データヘルス時代の乳幼児健康診査事業企画ガイド」(令和2年3月)別添資料を参考に作成(◎:特に重点的に確認、○:確認)

カテゴリー	スクリーニング対象疾病	3~4か月	1歳6か月	3歳
発育	成長 栄養状態	◎	◎	○
発達	運動(遅れ、脳性麻痺) 情緒・行動／社会性(遅れ、発達障害) 精神・言語(遅れ、発達障害)	◎ ○ ○	◎ ○ ◎	○ ◎ ◎
感覚器	聴覚、視覚	○	○	◎
身体疾患	血液、皮膚(母斑)、運動器(股関節、脊柱)、 循環器(心雑音)、呼吸器、消化器(ヘルニア、 腹部腫瘤)、先天異常	◎	○	○
心理・社会的背景	育児環境、虐待 生活習慣(食事、排泄、睡眠) 母親のメンタルヘルス	◎	◎	◎
その他	既往歴(てんかん、アトピー、喘息等) 事故防止、予防接種	○ ◎	○ ◎	○ ○

乳幼児健診の問診項目

平成10年4月8日児発第285号厚生省児童家庭局長通知

「乳幼児に対する健康診査について」第5次改正 令和5年12月28日こ成母第381号

か月児健康診査問診票(参考として3～4か月児健康診査問診票を掲げる)

○:成育医療等基本方針に基づく評価指標等に係る問診項目(毎年の母子保健課調査にて国に報告)

※問診票は、主にお子さんの世話をなさっている方が記入してください。

既往歴等	1	生まれつきの病気はありますか。	〈いいえ・はい〉
	2	お乳の飲みが少ないと心配したことがありますか。	〈いいえ・はい〉
	3	お乳をしばしば大量に吐くことがありますか。	〈いいえ・はい〉
	4	お腹が異常に大きいと感じたことがありますか。	〈いいえ・はい〉
	5	お風呂に入れたとき、お乳を飲むとき、泣いたときに、くちびるが紫色になることがありますか。	〈いいえ・はい〉
	6	けいれん(ひきつけ)を起こしたことがありますか。	〈いいえ・はい〉
	7	風邪にかかったら、すぐゼコゼコいいますか。	〈いいえ・はい〉
	8	食物アレルギーについて気がかりなことがありますか。	〈いいえ・はい〉
運動発達	9	腹ばいさせると、腕でからだを支え頭を持ち上げますか。	〈はい・いいえ〉
	10	あお向きから横向きに半分寝返りますか。	〈はい・いいえ〉
	11	両手を合わせて遊びますか。	〈はい・いいえ〉
	12	ガラガラなど、おもちゃを握りますか。	〈はい・いいえ〉
	13	お子さんを抱きにくいと感じたことはありますか。	〈いいえ・はい〉
	14	例えば、からだが柔らかく、しっかりしないと、手足が突っ張って硬いと感じたことがありますか。	〈いいえ・はい〉
神経発達・精神	15	視線が合いますか。	〈はい・いいえ〉
	16	動くものを目で追いますか。	〈はい・いいえ〉
	17	ガラガラを振ったり、ながめたりして遊びますか。	〈はい・いいえ〉
	18	「アーアー」「ウーウー」など言いますか。	〈はい・いいえ〉
習生活	19	散歩をよくしていますか。	〈はい・いいえ〉
	20	生後1か月時の栄養法はどうですか。	〈母乳・人工乳・混合〉
	21	便は毎日出ていますか。	〈はい・いいえ〉

平成10年4月8日児発第285号厚生省児童家庭局長通知

「乳幼児に対する健康診査について」第5次改正 令和5年 12月 28日 こ成母第381号

親（主な養育者）や子育ての状況	☐	22	妊娠中、お子さんのお母さんは喫煙をしていましたか。	(なし・あり(1日__本))
	☐	23	妊娠中、お子さんのお父さん(パートナー)は喫煙をしていましたか。	(なし・あり(1日__本))
	☐	24	妊娠中、お子さんのお母さんは飲酒をしていましたか。	(なし・あり)
	☐	25	現在、お子さんのお母さんは喫煙をしていますか。	(なし・あり(1日__本))
	☐	26	現在、お子さんのお父さん(パートナー)は喫煙をしていますか。	(なし・あり(1日__本))
	☐	27	生後半年から1歳頃までの多くのこどもは、「親の後追いをする」ことを知っていますか。	(はい・いいえ)
	☐	28	あなたの最近の心身の調子はいかがですか。	(良好・やや良好・どちらともいえない・ややよくない・よくない)
	☐	29	あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。	(はい・いいえ・何ともいえない)
	☐	30	お子さんのお母さんとお父さん(パートナー)は、協力し合って家事・育児をしていますか。	(そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない)
	☐	31	あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。	(感じない・時々感じる・いつも感じる)
	☐	32	(前の設問で「いつも感じる」もしくは「時々感じる」と回答した人に対して、)育てにくさを感じた時に、相談先はありますか。	(はい・いいえ)
	☐	33	地域の子育て支援センターを利用していますか。	
	☐	34	この地域で、今後は子育て支援センターを増設してほしいと思いますか。	
	☐	35	現在の暮らしの満足度はどのくらいですか。	
	☐	36	この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。	(しつけのし過ぎがあった・感情的に叩いた・乳幼児だけを家に残して外出した・長時間食事を与えなかった・感情的な言葉で怒鳴った・こどもの口をふさいだ・こどもを激しく揺さぶった・いずれも該当しない)
	☐	37	赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っていますか。	(はい・いいえ)
	☐	38	お子さんのかかりつけの医師はいますか。	(はい・いいえ・何ともいえない)
	☐	39	こども医療電話相談(＃8000)を知っていますか。	(はい・いいえ)
	☐	40	お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。	(働いていたことがある・働いていない)
	☐	41	(前の設問で「働いていたことがある」と回答した人に対して)妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思いますか。	(はい・いいえ)
☐	42	妊娠中、マタニティマークを知っていましたか。	(知っていた・知らなかった)	
☐	43	(前の設問で「知っていた」と回答した人に対して)マタニティマークを身に付けたりするなどして利用したことがありますか。	(利用したことがある・利用したことはない)	

成育医療等基本方針に基づく評価指標等に係る問診項目
(毎年の母子保健課調査にて国に報告)

問診で必要な観点

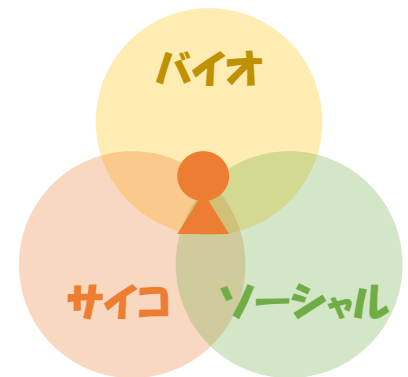
成育基本法に基づく成育医療等基本方針

成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和5年3月22日改訂)

「バイオ・サイコ・ソーシャル」の観点

Ⅱ

身体的・精神的・社会的なすべての面を
一体的に捉えた観点



一人ひとりのウェルビーイングを目指して
状態に応じた子育て支援

本日の内容

1. 乳幼児健診で気づきたい疾病、状態

2. 問診からのアプローチ



(1) 3~4か月児健診

(2) 1歳6か月児健診

(3) 3歳児健診

(4) 育児支援

運動発達(粗大運動)

- ①腹ばいにさせると、腕でからだを支え頭を持ち上げますか
- ②お子さんを抱きにくいと感じたことはありますか
- ③例えば、からだが柔らかく、しっかりしないとか、手足が突っ張って硬いと感じたことがありますか

生後4か月未満で①「いいえ」

→引き起こし反応で頭部の安定を確認

生後4か月以上で①「いいえ」

→「**頸定の遅れ**」の可能性

周産期歴、頭囲、筋緊張などを考慮して、専門医を紹介

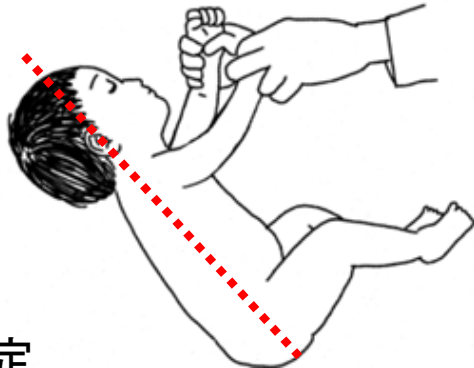
脳性麻痺、染色体異常、精神運動発達遅滞、神経筋疾患等



診察で確認すること

- 神経学的所見
- 姿勢のバリエーション
- 四肢の動き: バリエーション、活発さ
- 筋緊張: フロッピーインファント
- 運動以外の発達: 追固視、あやし笑い

引き起こし反応



頸定

体幹が45度時点で頸部の軸が一直線上



フロッピーインファント



後弓反張

図: 鳥取県乳幼児健診マニュアル

問診中に確認できること

- 仰臥位：四肢の動き：バリエーション、活発さ
- 抱っこの状態
- 運動以外の発達：追固視、あやし笑い、音への反応



頸部を正中保持できる



頸部を正中保持できない



腕が抜けそうになる

考えられる状態

- 健常発達のバリエーション

- ・生理的な大頭
- ・良性筋緊張低下

経過観察
→1か月後

- 全般性発達遅滞

- ・重度知的障害のリスク

- 神経筋疾患（フロッピーインファント）

- ・脊髄性筋萎縮症、先天性筋ジストロフィー
- ・Pompe病、染色体異常（Down症候群、Prader-Willi症候群）

要精査

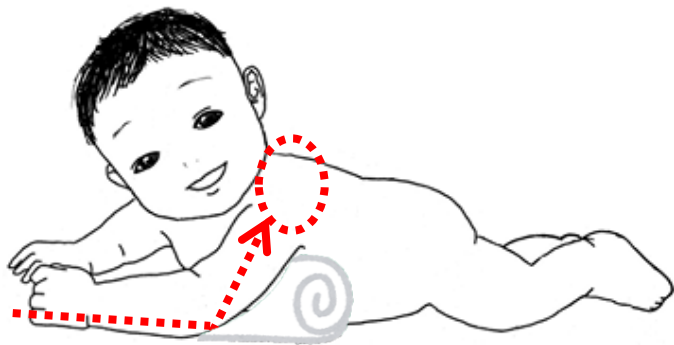
- 脳性麻痺

- 栄養障害

- 不適切な養育（児童虐待）

要支援

ワンポイントアドバイス：うつ伏せ指導



- わきの下に丸めたタオル
- ・前腕が支持面→肩甲骨
 - ・前腕と上腕が90度くらい



大人が仰向けになり、
顔を合わせるように腹の上にのせる
子の前腕が支持面になるよう上腕をもつ

運動発達(微細運動)

- ①両手を合わせて遊びますか
- ②ガラガラなど、おもちゃを握りますか
(ガラガラを振ったりなめたりしますか)

①は大半が「はい」と答える。

「いいえ」や「わからない」と答えた場合は、

→全般性発達遅滞、神経筋疾患、育児状況などに留意

②は、4か月近くになると「はい」の回答が増える。

「いいえ」の場合は、反応を確認。

→「まったく持たない」、「手に触れて落とす」の場合は、

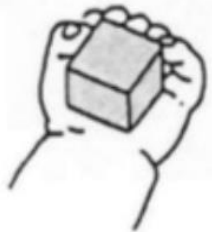
全般性発達遅滞、神経筋疾患、育児状況などに留意

→手を握りこんでいる場合は、

全般性発達遅滞、神経筋疾患に留意

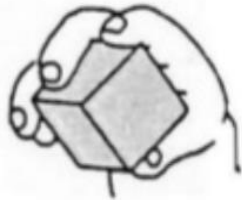
問診中に確認すること

- 神経学的所見、運動・姿勢の発達
- 自発的な上肢の動き
- 手の握り: 把握反射消失、軽く開いている
- 親の状態、親の子どもへの関心



5-6 Mo

全手(手掌)握り



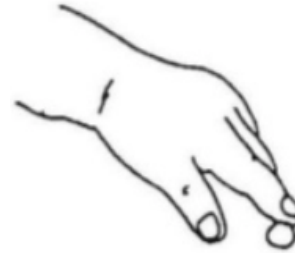
7-8 Mo

橈側手掌握り



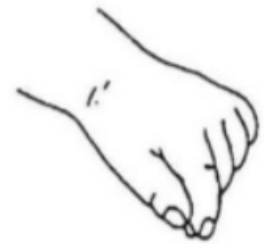
8-9 Mo

橈側手指握り
母指対向操作



9 Mo ~

側腹つまみ→指腹→指尖
尖指対向操作



ワンポイントアドバイス：感覚入力

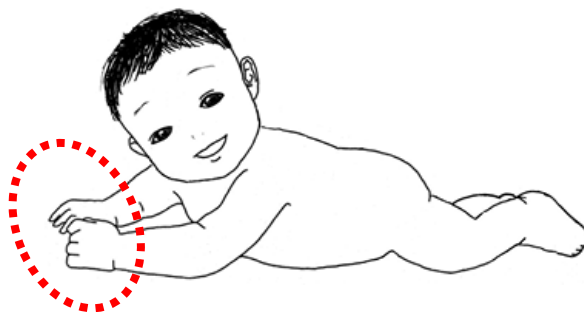
固有感覚からの入力
肘や肩の角度、位置



視覚からの入力

触覚からの入力

- ・口、顔
- ・床、カーペット



ワンポイントアドバイス：感覚と運動の供応



図：鳥取県乳幼児健診マニュアル

外界への興味

視覚でとらえた対象に対して手を伸ばす

＝感覚と運動の協応

- ①視線が合いますか
- ②動くものを目で追いますか
- ③「アーアー」「ウーウー」などといえますか

生後4か月以上で「いいえ」

→**神経疾患、育児状況などに留意**

- 精神発達の遅れ、視聴覚障害などの可能性
⇒専門医を紹介
- 近年のテレビ・スマホ環境において、保護者が子と見つめあって、声を掛け、微笑みを交わすことの大切さに気付いていない場合もある。
⇒支援が必要な場合は、家庭訪問など保健師につなぐ

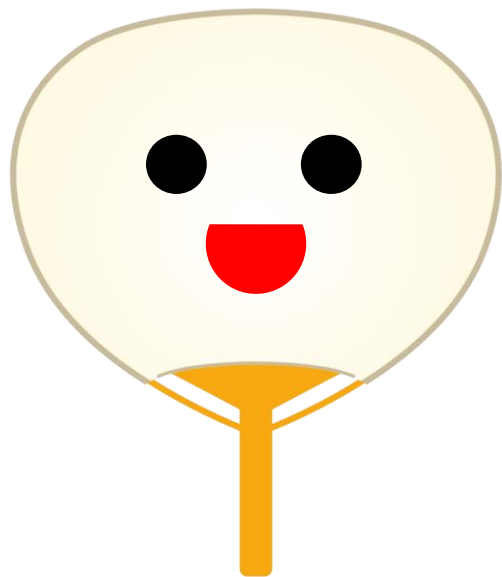
乳幼児の目に関する問診

- ・ 瞳が白くみえたり、光ってみえることはないですか
- ・ 眼の大きさや形がおかしいと思ったことがありますか
- ・ 視線が合いますか
- ・ 動くものを目で追いますか
- ・ 目がゆれることはないですか
- ・ 目つきや目の動きがおかしいと思ったことがありますか
- ・ 極端にまぶしがることはないですか
- ・ 片目を隠すと嫌がりませんか

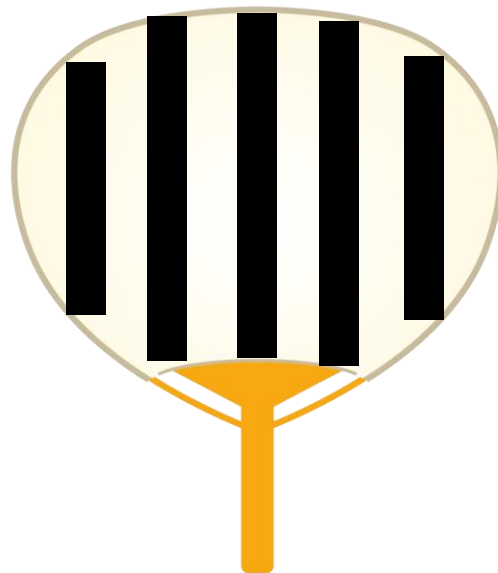
問診中に確認すること

- 視線が合う、追視・固視
- 眼科的診察
- Cooing(唇や舌を使わずに出せる単音の発声)アー、クー、ウー
いろいろな声(質、大きさ、長さ)
- 表情の変化、音源定位
- 活動性、運動発達
- 子どもの親への関心
- 親の状態、親の子どもへの関心

ワンポイントアドバイス：追視・固視



無地のうちわに、
黒丸2つ、赤半円1つ



無地のうちわに、黒線

絵本：コントラストのはっきりした絵

(見えないほうから声をかけると、そちらを向きますか)

大きな音に対する驚愕反射などの原始反射が消え、
聴性行動(音源定位など)に移行する時期。

- 今まで反応があったのに、反応がなくなると誤解する保護者もある。
- この月齢で音に反応が悪いと保護者が感じている場合
→高度難聴のこともあるので注意
精神発達の遅れや育児状況が関与している場合もある。

【病歴のチェック】

難聴の家族歴、片側and/or両側の外耳道閉鎖

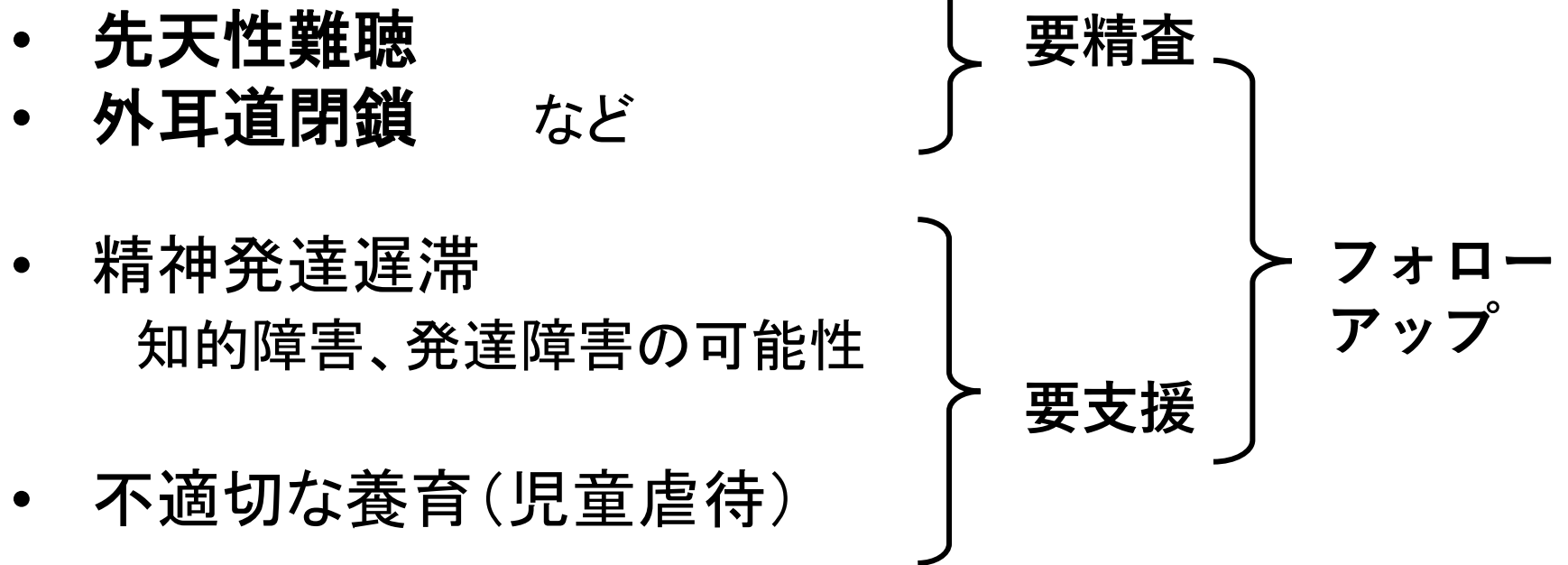
新生児聴覚スクリーニング(片側異常)

聴覚発達 チェックリスト

(田中・進藤式)

0 か月 ごろ
() 突然の音にビクッとする () 突然の音にまぶたをぎゅっと閉じる () 眠っているときに突然大きな音がするとまぶたが開く
1 か月 ごろ
() 突然の音にビクッとして手足を伸ばす () 眠っていて突然の音に目を覚ますか、または泣き出す () 目が開いているときに急に大きな音がするとまぶたを閉じる () 泣いているとき、または動いているとき声をかけると泣きやむか動作を止める () 近くで声をかける (またはガラガラを鳴らす) とゆっくり顔を向けることがある
2 か月 ごろ
() 眠っていて急に鋭い音がすると、ビクッと手足を動かしたりまばたきをする () 眠っていて子どもの騒ぐ声や、くしゃみ、掃除機などの音に目を覚ます () 話しかけると、アーとかウーとか声を出して喜ぶ (またはニコニコする)
3 か月 ごろ
() ラジオの音、テレビの音、コマーシャルなどに顔 (または眼) を向けることがある () 怒った声や優しい声、歌や音楽に不安げな表情をしたり喜んだり嫌がったりする
4 か月 ごろ
() 日常のいろいろな音 (玩具・テレビ・楽器・戸の開閉) に関心を示す (振り向く) () 名を呼ぶとゆっくりではあるが顔を向ける () 人の声 (特に聞き慣れた母の声) に振り向く () 不意の音や聞き慣れない音、珍しい音にははっきり顔を向ける
5 か月 ごろ
() 耳元に目覚まし時計を近づけると、コチコチという音に振り向く () 父母や人の声などよく聞き分ける () 突然の大きな音や声に、びっくりしてしがみついたり泣き出したりする
6 か月 ごろ
() 話しかけたり歌をうたってやるとじっと顔をみている () 声をかけると意図的にさっと振り向く () ラジオやテレビの音に敏感に振り向く
7 か月 ごろ
() 隣の部屋の物音や、外の動物の鳴き声などに振り向く () 話しかけたり歌をうたってやると、じっと口元を見つめ、時に声を出して応える () テレビのコマーシャルや番組のテーマ音楽の変わり目にパッと振り向く () 叱った声 (メッ、コラなど) や近くでなる突然の音に驚く (または泣き出す)

考えられる状態



本日の内容

1. 乳幼児健診で気づきたい疾病、状態

2. 問診からのアプローチ

(1) 3~4か月児健診



(2) 1歳6か月児健診

(3) 3歳児健診

(4) 育児支援

運動発達(粗大運動)

- ①手をひかれて階段を上ることができますか
- ②手足の動きがぎこちなく突っ張った感じがありますか

階段を這い上がる: 1歳～1歳2か月

片手をひかれて階段を上る: 1歳3か月～1歳5か月

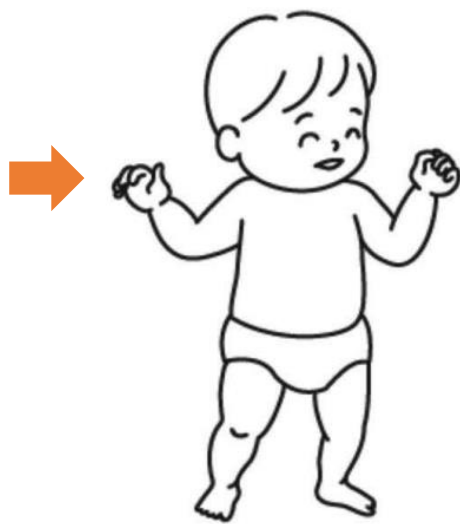
片手をひかれて階段を降りる: 1歳6か月～1歳8か月

【可能性のある疾患】

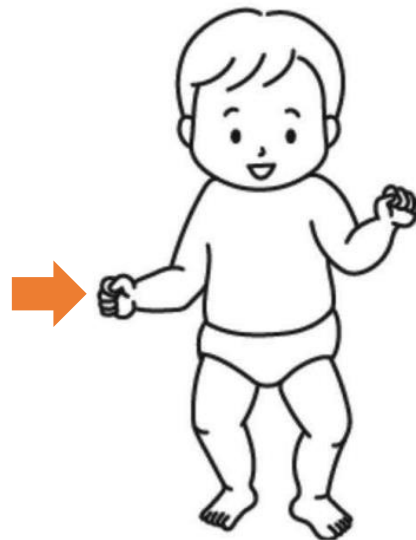
脳性麻痺、神経筋疾患(筋ジストロフィー等)、精神運動発達遅滞、
ビタミンD欠乏性くる病、甲状腺機能低下症、染色体異常など

※できていたことができなくなっていたら、遅れず精密検査へ！

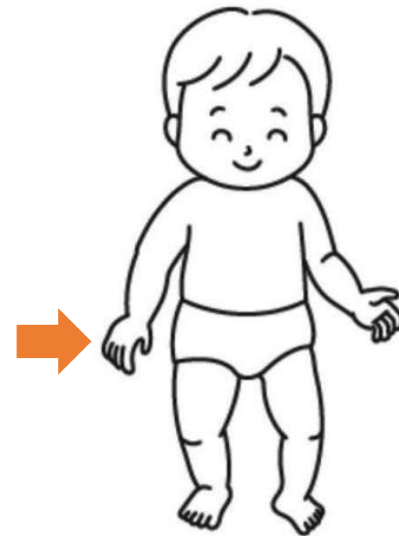
進行性の中枢神経系疾患、神経筋疾患、先天代謝異常症など



ハイガード



ミドルガード



ローガード

- **不安定な歩行:**手の位置に着目。両手を挙げてバランスを取りながらの歩行は、1歳前後のレベルであり、経過観察を要する。
- **爪先歩行:**習癖であることがほとんど。左右差があったり、常に爪先歩行であれば専門医へ紹介する。まれに脳性麻痺が診断されている。

図: 改訂版乳幼児健康診査身体診察マニュアル
(国立成育医療研究センター)

- ①鉛筆をもってなぐり書きをしますか
- ②スプーンを使って食事ができますか

- この時期に、コップで飲むことは完成する。スプーンをもって食べたり、ストローで飲んだりするが、こぼしたり、ひっくり返したりすることがある。スプーンで口まで運び、少しでも口に入ればよい。
- 現在、どういう食事動作をとっているか、道具を使おうとするかなど
自発性をみる。
→ **精神運動発達、社会性発達、育児状況に留意**

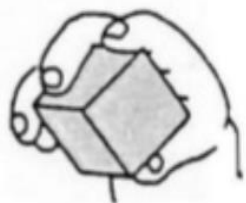
(積み木をつみますか)

1辺3cmの積み木の持ち方、積み方を確認する。診察では緊張してできない子どももいる。2個以上積みめればよい。



5-6 Mo

全手握り



7-8 Mo

橈側手掌握り



8-9 Mo

橈側手指握り

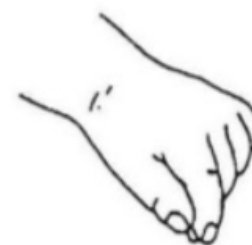
母指対向操作



9 Mo ~

側腹つまみ→指腹→指尖

尖指対向操作



1歳6か月児健診

精神・神経発達（言語・社会性）

- ①絵本を見て知っているものを指しますか
- ②大人の言う簡単な言葉が分かりますか
（おいで、ねんね、ちょうだいなど）

言語や対人関係の発達として、

9～10か月頃：動作模倣（バイバイなど）がみられ始める

12か月頃：バイバイなどの声に反応して手を振る

マンマなどの簡単な言語模倣

1歳6か月頃：簡単な指示に従える

有意語を3つ以上

動作模倣・音声模倣→言語模倣→発語
状況理解→言語理解

語彙の発達

年齢	語彙数
1歳半	20～30
2歳	300
3歳	1,000
4歳	1,500
5歳	2,000
6歳	2,500～3,000

問診中に確認できること

- 絵本の指差し
- 発声、発語
- 音への反応(→聴覚に関する問診)
- 精神発達
- 運動・姿勢の発達
- 子どもの親への関心
- 親の状態、親の子どもへの関心

（名前を呼んだら振り返りますか）

- 人の声に注意を向け、聞き分ける聴力と同時に、自分の名前がわかっていることが重要。
→聴覚、言語理解の発達に留意
- 名前を呼んでも反応せず、周囲の人や物・音声に無関心であるが、コマーシャルや特定の音に敏感であったり、突然の音に反応したり、特定の音を嫌がったりする場合
→発達障害の可能性も考えられる。

考えられる状態

- 先天性難聴
- 外耳道閉鎖 など
- 精神発達遅滞
知的障害、発達障害のリスク
アタッチメント障害
- 育児の問題
(児童虐待のリスク)

要精査

要支援

フォロー
アップ

- ①何かに興味を持った時に、指差しで伝えようとしていますか
- ②部屋の離れたところにあるおもちゃを指すとその方向をみますか

実物だけでなく、問いかけに対してテーマを共有して応答できるか。
言語の前段階として大きな意味を持つ。



共同注視(三項関係)

■「何かに興味をもった時、指をさして伝えようと思いますか？」

- ・「欲しいものを指さして教える」とは異なり
ここでは興味を持ったものを指さしするか、
興味はもっても共有しようとしなないかどうか



飛行機を見つけて指さす



飛行機に興味はもつが指さししない、
一人でつぶやく、など

1歳6か月児用の質問の説明図

(資料提供)

国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部部長 神尾陽子氏
第10回「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会資料より

指差しの発達

指さしの発達	時期	特徴
指向の指さし	9・10か月～	大人が指したものを一緒に見る
自発の指さし	11か月～	見つけたものを「あ、あ」などと言いながら指さす
要求の指さし	12か月～	欲しいものを指さして、大人に要求
叙述の指さし	15・16か月	何かに興味を持った時に他者に伝えるために指さして伝える
可逆の指さし	18か月～	大人の言葉での質問に、子どもが指さしで応答

本日の内容

1. 乳幼児健診で気づきたい疾病、状態

2. 問診からのアプローチ

(1) 3~4か月児健診

(2) 1歳6か月児健診

★ (3) 3歳児健診

(4) 育児支援

運動発達(微細運動、社会性)

①ほぼこぼさないで一人で食べますか

(まねして○をかきますか)

(ボタンかけ、はさみの使用、蛇口をひねる、キャップを開ける、積み木を4つ以上積めるなど)

- 手に握れるサイズの道具について、3点握りができるようになり、効率的な道具使用ができるようになってくる。
- ○の描画は、大きさにかかわらず、閉じた○がかければよい。

手を使う→指を使う→指の分離運動→道具操作
(食具、文具、日用品、衣類)
目と手の協応、左右の分離運動→協調運動
空間での運動コントロール(静的・動的)

- ①同年齢のこどもと会話ができますか
- ②言葉が遅れているという心配はありますか
（自分の名前（姓名）が言えますか
（誰と、どうやってと聞くと答えますか）

- ・ 友達の存在を意識し、自分と相手との領域を見分ける力がついてくる。
- ・ 身近な人の姓名、性別も言えるようになる。
- ・ 5W1Hのほとんどが答えられるようになってくる。時間概念については、この時期は未完成のことが少なくない。

→社会性発達、言語・認知の発達

自分と他者との関係は家庭や周囲の環境も影響する。

言語発達(5W1H)

5W1H	獲得のめやす
Which	1歳半～2歳
Who	3歳
What	3歳
Where	3歳半～4歳
How to	3歳半～4歳
When	4歳

精神・神経発達（言語、社会性）

（赤、青、緑、黄色のうち3色がわかりますか）

（大きい、小さいがわかりますか）

- 言語発達の過程で、事物や人物の命名を獲得（名前があることを発見）した後、さらに表象機能が発達し、物と物との関係性、「同じー違う」「いっぱい」に気づき、その延長に「大小」「長短」「軽重」の概念が成立していく。

→言語・認知の発達、社会性発達

教えていないなど、家庭や保育環境も影響する。

言語発達(抽象概念)

事物や人物の命名



イメージをつなげる



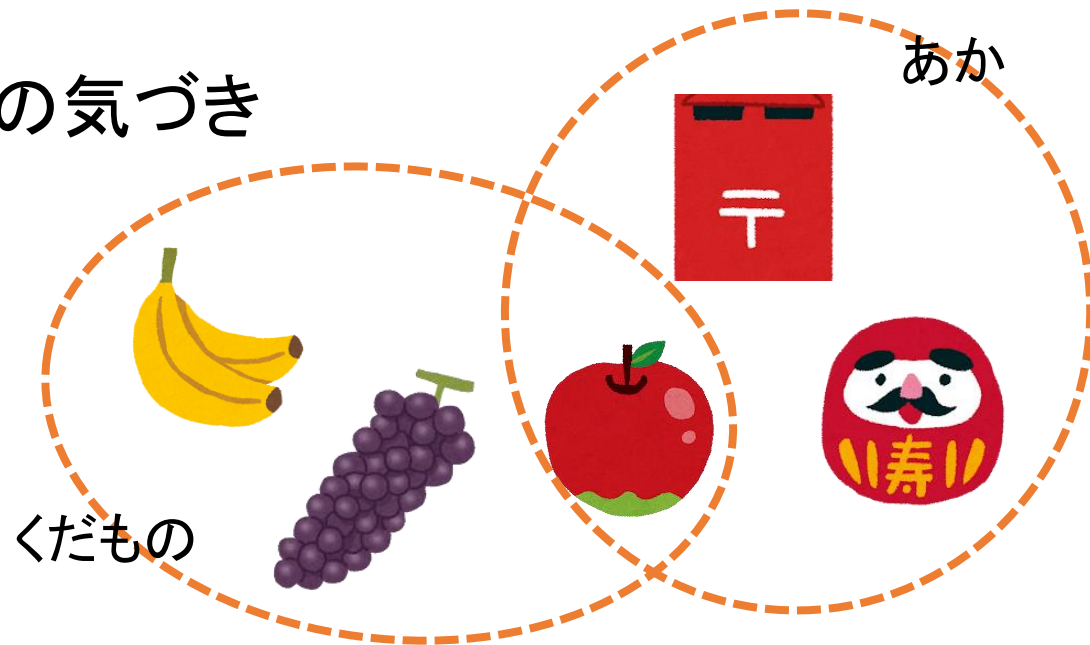
物と物の関係などへの気づき



上位概念の形成



カテゴリー化



言語発達(品詞)

品詞	獲得年齢
名詞	1歳
動詞(動作語)	2歳
形容詞	2～3歳
副詞・疑問詞	3～4歳

ワンポイントアドバイス：理解、会話を促す

- 誰と遊んだ？
- 何をしてあそんだ？
- おやつには、何を食べた？
- 買い物は、どこに行く？
- どうやって行く？ 誰の車？

- おやつ、買い物など、制約がある場合は選択させる
- 大小、色、感情表現なども会話に含めていく

①昼間のおしっこを前もって知らせますか
(おもちゃのおかたづけができますか)
(ひとりでパンツをはけますか)

- 大人や友達の手伝いができるようになり、身辺自立が徐々になるようになっていく時期。
- 社会(身近な生活の場)の中での自分の役割を認識し、日常生活習慣の自立性を養っていく。
- 好奇心旺盛でなんでも一人でやりたがる自我の発達時期。

→社会性発達

発達遅滞(知的障害の可能性)、自閉スペクトラム症
未経験など、家庭や保育環境も影響する。

自立に向けた発達課題

E. H. エリクソン

乳児期
基本的信頼
の獲得

幼児期前半
自律性
の獲得

幼児期後期
積極性
の獲得

学童期
勤勉性
の獲得

思春期
自我同一性
の獲得

ライフサイクル



写真は本人・保護者の同意を得て掲載

幼児期早期の自閉スペクトラム症

- 1歳～2歳ころ：受身的
 - ・ 放置されたら放置されたまま、相手をされたらそれなりに反応
例) 自分からしがみつかずただ抱かれたまま
一人にされていると何もしないでじっとしている
- 2歳ころ～：特徴的な行動が気になってくる
 - ・ 親の働きかけに応じない、おもちゃへの興味も薄い
 - ・ 意味なく横目で凝視する、指の隙間から
 - ・ ものや人の顔を思いきり近づけて見る
 - ・ 換気扇のまわる様子や光の点滅に見入る
 - ・ ブロックを2つあわせてその合わせ目を見る

視覚と関係のある常同行動
特定の音、単調な繰り返し

3歳までの乳幼児健診で疑われる発達障害

自閉スペクトラム症

1歳6か月児健診＝重度～中等度、3歳児健診＝中等度～軽度

療育での目標

これから先の日常生活や社会生活を円滑に送れるようにすること
＝**将来の社会的自立**

- 身辺自立、生活リズム
 - 社会性、コミュニケーションのスキル
- ※言葉の獲得に固執しない

障害児は被虐待リスクが高い

A population-based record-linkage study of all children born in Western Australia between 1990 – 2010.
(Maltreatment risk among children with disabilities. Maclean, et al., 2017)

- 対象者524,534人、10.4%に障害あり
- 不適切なケアは全体の4.6%、障害のある子どもの **25.9 %**
- 知的障害、精神・行動の問題、行為障害のある子は高い危険率
- 知的障害の程度は軽度の方が危険率が高い

Severity of ID	Number	Multivariate HR ^a
Borderline-mild	2775	2.73 (2.45–3.04)
Mild-moderate	4077	2.01 (1.85–2.17)
Severe	552	1.30 (0.95–1.79)
Unknown	1147	1.57 (1.22–2.03)
No ID	515 983	Ref

親・養育者の気持ち

- 試行錯誤しながら子どもの対応をするがうまくいかない
- 昼夜こどもに振り回されて自分の時間が犠牲になる
- こどもの対応で仕事がはかどらない
- こどもの育てにくさのために他の親のような育児の楽しみがなく、つらい
- 何度注意を繰り返しても、ききいれないために悩む
- 反応に乏しく、母の存在を全く意識しないこどもに戸惑い、つらくなる
- 同年齢の子との発達の違いを目の当たりにし、ショックを受けた
- 夫や家族が自分と同じレベルで考えてくれない

子育ては情動を伴う

体験する情動

子育ての行動や態度

ポジティブ



応答性 高い
あたたかい養育行動

ネガティブ



否定的
厳格な養育行動

本日の内容

1. 乳幼児健診で気づきたい疾病、状態

2. 問診からのアプローチ

(1) 3~4か月児健診

(2) 1歳6か月児健診

(3) 3歳児児健診



(4) 育児支援

乳幼児健診共通 親(主な養育者)や子育ての状況

- ①あなたは、お子さんに対して育てにくさを感じていますか
- ②育てにくさを感じた時に、相談先をしっているなど、
何らかの解決する方法を知っていますか

- ・ 乳児期は母親による育児が多くを占める。幼児期になると保育所の利用も増えてくる。
- ・ 相談相手の有無、育児の仲間づくりの確認が重要。
→育てにくさを感じる事が「ない」の回答にも注意
訴えられない場合や、ネグレクトなどのリスクが潜在する。

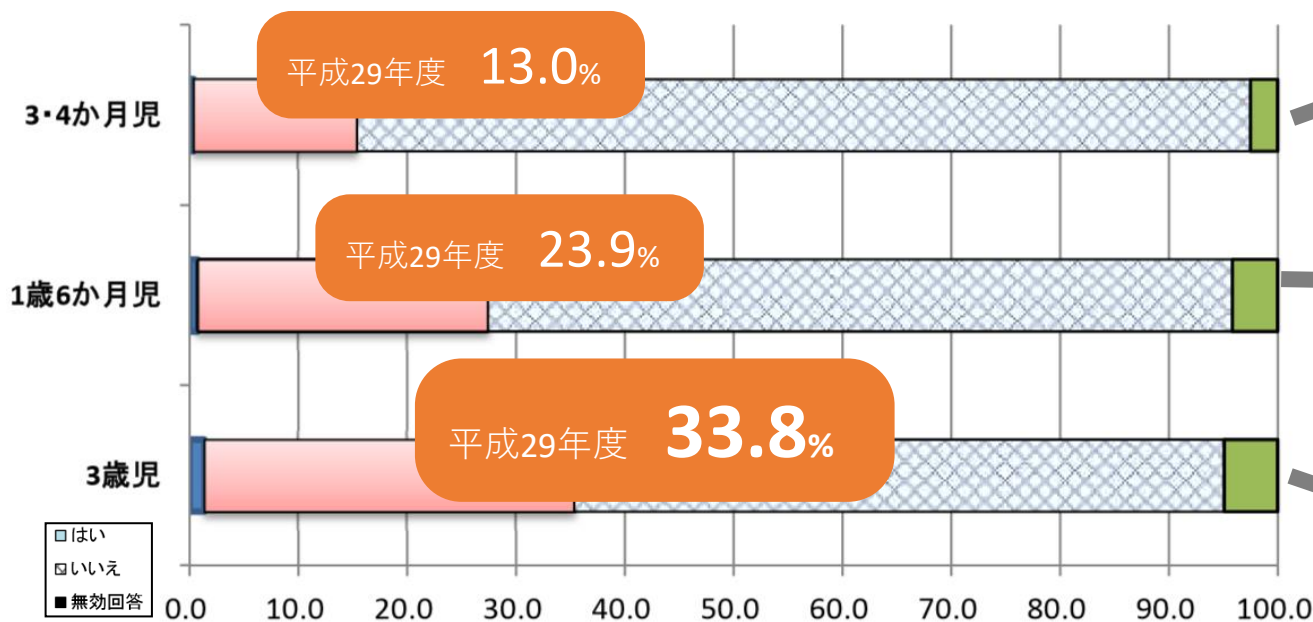
育てにくさ

育てにくさを感じる親

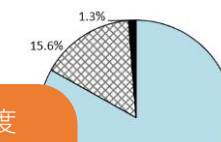
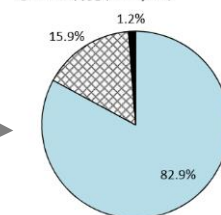
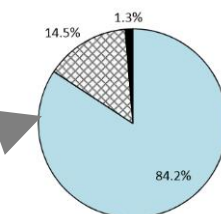
設問①: あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか。

→ (1.いつも感じる 2.時々感じる 3.感じない)

■ 1.いつも感じる ■ 2.時々感じる ■ 3.感じない ■ 無効回答



対処できる親の割合



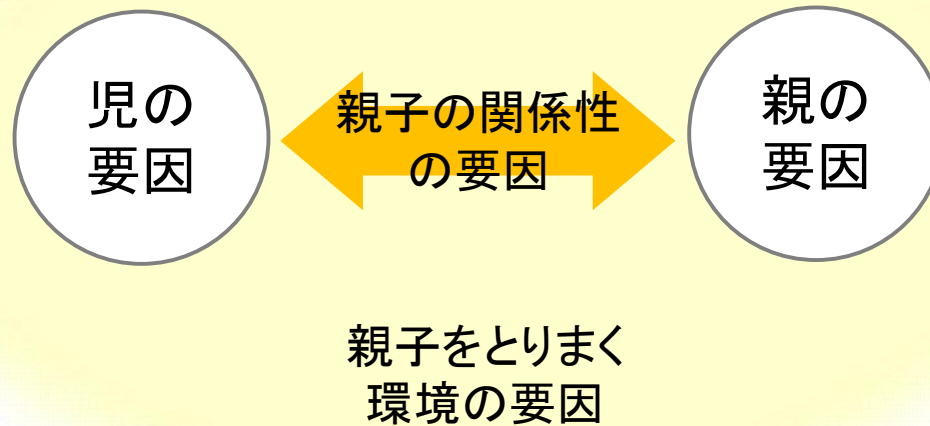
平成29年度
81.3%

令和2年度
81.8%

目標95.0%

平成30年度厚生労働科学研究（山縣班）「健やか親子21（第2次）中間評価を見据えた調査研究
第7回成育医療等協議会（2022年5月18日）資料1-①

育てにくさの要因



バイオ・サイコ・ソーシャルの観点

育てにくさの要因とその支援

直接的な成長・発達への支援

遊びの教室、ことばの教室、発達支援 など

直接支援機関への支援的・調整的支援

保育園・幼稚園・認定こども園

地域子育て支援活動 などへのアプローチ

親への直接的な育児支援

子育て教室、ペアレント・トレーニング

親の心身を豊かにする支援

一時保育、リフレッシュ

経験を共有し合う仲間づくり など

子育てと並行する親の自己実現への支援

就労保育など制度上の支援 など

家族全員で子育てするための支援

父親教室、孫育て講座、ピアカウンセリング など

安心した生活を送れる環境支援

経済基盤、住宅環境の状況確認

資源の紹介・調整、資源の開発 など

地域の一員として孤立しない支援

コミュニティネットワークの形成、地域活動 など

親子がともに生きていく経験をするための支援

親子の信頼関係・愛着関係の基礎作り

→親子がともに育ち・育て合う

マタニティクラス、親子教室、子育てサークル など

子どもへ

児の
要因

親子の関係性
の要因

親の
要因

親へ

環境へ

親子をとりまく
環境の要因

親子関係へ

問診中に確認できること

- こどもの身体所見
 - ・ 体が汚れている
 - ・ 新旧の傷痕の混在
 - ・ 複数の熱傷痕
 - ・ 両下腿の複数の内出血斑
 - ・ 基礎疾患のない成長障害
 - ・ 多数の齲歯
- こどもの行動所見
 - ・ 大人への過度の馴れ馴れしさ
 - ・ 大人への過度の身体接触
 - ・ 過度の警戒心
- 親の状態
 - ・ 親の説明内容がころころ変わる
 - ・ 子どものことを答えられない
 - ・ 育児にネガティブな発言
 - ・ 子どもにかけることばが乱暴
 - ・ 子どもの扱いが乱暴

養育状況
アタッチメント

こどもと養育者の関係性を観察

アタッチメントの形成は？

- こども
- おとなしすぎる
 - あまり泣かない・笑わない
 - 要求が極端に少ない
 - ずっと泣いている

- 養育者
- あやさない
 - こどもに対する関心が低い
 - 乱暴に扱う
 - 自分に関心を向けさせる

アタッチメント行動

養育者の敏感性への適応



養育行動

応答の敏感性



考えられる状態

- 児童虐待
- 養育不全
児童虐待のリスク
- 育児の問題
こどもの要因
親の要因
親子関係の要因
環境の要因

児童相談所
通告・相談

要支援

フォロー
アップ

- ・緊急性の見極め
- ・こども家庭センター、要対協との連携

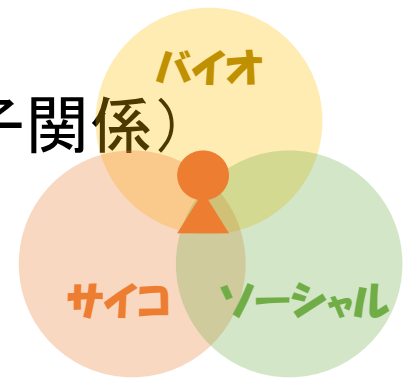
ワンポイントアドバイス：“やりとり”をうながす

相互交流：やってあげたり、やってもらったりする相互的な作用
Serve and Return

- やり取りの成立しにくい子ども
 - ・感覚遊びを通じながら、心地よい反応を引き出す
 - ・表情や声の変化をまねする、オノマトペ
- 泣くなど怖がったり嫌がったりすれば、刺激を弱める
- ・反応が分かりにくい子どもの場合は、一緒に解釈してみる

最後に 問診で大切なこと

- 問診は項目を聞きとるだけではない
 - ・項目間の関係性
 - ・観察＝視診(こどもの状態、親の状態、親子関係)
 - ・傾聴
 - ・こども・親と支援者とのラポール形成
ひとりじゃない
- 不安・困り感に対する具体的なアドバイス
今日からできる



こどもにとっての最良を優先し、親・養育者の心情に寄り添い、
親子とともに歩む姿勢